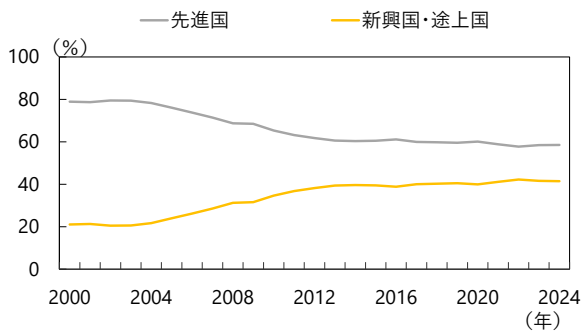


第4節 パワーバランスの変化とグローバルサウス

多くの新興国・途上国の経済力の高まりは、国家間のパワーバランスを変化させている。新興国の GDP シェアは長期的に拡大を続けており（第 I-2-4-1 図）、今後も人口や GDP で国際的な存在感を拡大することが見込まれる¹¹。一部の国家は、この変化を自覚し、新興国・途上国の意見を国際的に糾合し、自らの国際的な影響力につなげるための行動を強めている。例えば、2023 年 1 月には G20 議長国のインドが「グローバルサウスの声サミット」を主催した。「グローバルサウス」は、そうした文脈で新興国・途上国を総体として指す言葉として使われているが、その定義や外縁に必ずしも共通理解はない。

第 I-2-4-1 図 先進国と新興国・途上国の GDP シェア



備考：ドルベース。新興国・途上国は IMF の分類に基づく。
資料：IMF「WEO」から作成。

BRICS の動向は、グローバルサウスの存在感を示す象徴的な事象と捉えられている。BRICS は新興国の連携強化を目的として、2009 年にブラジル、ロシア、インド、中国で始動し、程なく南アフリカが加わった。その後は長らく 5 か国にとどまる枠組みだったが、2024 年から 25 年にかけて中東・アフリカの 4 か国やインドネシアが加盟したほか、タイやマレーシアを含む 9 か国が準加盟国に相当する「パートナー国」となった。この変化は、新たな潮流として注目されている。こうしたグローバルサウスを巡る動向は、既存のグローバル・ガバナンスの在り方などに対する不信感の表れとの指摘もあり、その行方はルールベースの国際経済秩序を巡る不確実性を高める要因にもなり得る。

グローバルサウス諸国とされる国々の歴史的背景や社会経済的な状況、政治体制、地政学的な立場は多様であり、一括りに捉えることは必ずしも適切ではない。第Ⅱ部第3章第5節で詳述するとおり、グローバルサウス諸国がそれぞれ直面する具体的な社会経済的課題に、共創のパートナーとして連携して取り組むことで、国際社会を分断と対立から協調へと方向づけていくことは、国際的な不確実性への対処にもつながる。

¹¹ 経済産業省（2024）。令和 6 年版通商白書第Ⅱ部第 1 章第 4 節では、世界の各地域の一人当たり GDP や人口の成長を踏まえた中長期的な経済成長の推移を推計した。